

教員養成の目標(中学校(英語))

| 履修年次 | | 到達目標 |
|------|-----|---|
| 年次 | 時期 | |
| 1年次 | 春学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校英語科の教員免許を取得する意志の確認。 ・教員に課せられた職責を深く理解し、大学4年間で、人格の確立と指導力のある教員になるための学びの動機付けを行うとともに自己を見つめ、自己のキャリア形成についての計画をしっかりと持つ。 ・関連科目の履修計画を立て、1年次において取得する科目を登録する。 |
| | 秋学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校英語科の教員免許取得希望の意志を決定する。 ・教員免許取得までのプロセスが把握できる。 ・教職につくことへの意欲と使命感を確実なものとするため、教職の意義と役割、職務内容と望まれる教員の資質について基礎的な理解を深める。 ・小中一貫教育の視点から小学校外国語活動、外国語の教育実践に必要な英語運用力を修得する。 ・学校インターンシップ、学校ボランティア等を通じて、教育現場との関わりを持つ。 |
| 2年次 | 春学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・本格的に教職課程がスターするので、履修計画を立て、それに基づき学習をする。 ・取得に必要な科目履修を行い、中学校英語科教員としての教科・教職に関する知識や素養を一層身に付ける。 ・4技能を活用したコミュニケーションの基礎を培う。 |
| | 秋学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校英語科の教員免許を取得する心構えを再確認するとともに、教員としての適性について見つめ直す。 ・春学期修得科目を通して、中学校英語科の教員としての教科・教職に関する知識や素養を体得できたかを確認し、秋学期関連科目の履修を通して、実践的指導方法を視野に入れた学習を修得する。 ・介護等体験に参加し、特別支援教育や福祉に関する理解を深め、教員としての資質を高める。 ・教員採用試験の受験準備をする。 ・英検、TOEFLなどの代表的な資格試験を受験する。 |
| 3年次 | 春学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許取得希望者へのガイダンスに参加し、教育実習先の希望調査を提出する。 ・中学校英語科の学習指導要領について基本的な事柄を理解し、実践的な指導技術を修得する。 ・中学校の英語教育のカリキュラムを理解し、英語の授業実践に向けた実践的方法論を修得することができる。 ・英語圏の文化・思想及び特徴を理解することができる。 |
| | 秋学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の教科指導以外の指導内容について理解する。 ・講義や演習を通じた専門的な考察により、学習指導・教科指導を発展的に理解し、教育上の多様な課題を主体的に設定する。 ・教育実習を実施するための心構えと前提となる条件を満たす。 ・ICTを活用した授業実践力を修得する。 |
| 4年次 | 春学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育実習を通じて、英語の実践的な指導能力を修得し、英語教育に関する認識を深め、中学校英語科の教員としての資質をさらに発展させる。 ・英語での基礎的なプレゼンテーションができる。 |
| | 秋学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育実習の振り返りを通して、中学校英語科の教員としての自覚を高める。 ・教職履修カルテを通じて4年間の学びを総点検し、不十分なところを補い、内発的な向上心を育むことができる。 |

教員養成の目標(高等学校(英語))

| 履修年次 | | 到達目標 |
|------|-----|--|
| 年次 | 時期 | |
| 1年次 | 春学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校英語科の教員免許を取得する意志の確認。 ・教員に課せられた職責を深く理解し、大学4年間で、人格の確立と指導力のある教員になるための学びの動機付けを行うとともに自己を見つめ、自己のキャリア形成についての計画をしっかりと持つ。 ・関連科目の履修計画を立て、1年次において取得する科目を登録する。 |
| | 秋学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校英語科の教員免許取得希望の意志を決定する。 ・教員免許取得までのプロセスが把握できる。 ・教職につくことへの意欲と使命感を確実なものとするため、教職の意義と役割、職務内容と望まれる教員の資質について基礎的な理解を深める。 ・小中高一貫教育の視点から、外国語の教育実践に必要な英語運用力を修得する。 ・学校インターンシップ、学校ボランティア等を通じて、教育現場との関わりを持つ。 |
| 2年次 | 春学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・本格的に教職課程がスターするので、履修計画を立て、それに基づき学習をする。 ・取得に必要な科目履修を行い、高等学校英語科教員としての教科・教職に関する知識や素養を一層身に付ける。 ・4技能を活用したコミュニケーションを発展的に行う。 |
| | 秋学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校英語科の教員免許を取得する心構えを再確認するとともに、教員としての適性について見つめ直す。 ・春学期修得科目を通して、高等学校英語科の教員としての教科・教職に関する知識や素養を体得できたかを確認し、秋学期関連科目の履修を通して、実践的指導方法を視野に入れた学習を修得する。 ・「海外教育エクスターンシップ」を通して、実践的な英語コミュニケーションを修得する。 ・教員採用試験の受験準備をする。 ・英検、TOEFLなどの代表的な資格試験を受験する。 |
| 3年次 | 春学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員免許取得希望者へのガイダンスに参加し、教育実習先の希望調査を提出する。 ・高等学校英語科の学習指導要領について基本的な事柄を理解し、実践的な指導技術を修得する。 ・高等学校の英語教育のカリキュラムを理解し、英語の授業実践に向けた実践的方法論を修得することができる。 ・英語圏の異文化理解・異文化コミュニケーションへの認識を深める。 |
| | 秋学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の教科指導以外の指導内容について理解する。 ・講義や演習を通じた専門的な考察により、学習指導・教科指導を発展的に理解し、教育上の多様な課題を主体的に設定する。 ・教育実習を実施するための心構えと前提となる条件を満たす。 ・ICTを活用した授業実践力を修得する。 |
| 4年次 | 春学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育実習を通じて、英語の実践的な指導能力を修得し、英語教育に関する認識を深め、高等学校英語科の教員としての資質をさらに発展させる。 ・英語でのディベートやディスカッション等の高度な言語活動ができる。 |
| | 秋学期 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育実習の振り返りを通して、高等学校英語科の教員としての自覚を高める。 ・教職履修カルテを通じて4年間の学びを総点検し、不十分なところを補い、内発的な向上心を育むことができる。 |